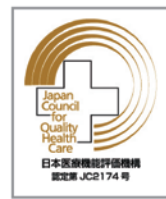




ありがとう、通所リハ「きらら」

Index

- 2 **特集** 新年のご挨拶
- 3 ありがとう、通所リハ「きらら」
- 4 産婦人科のご紹介
- 5 採血のおはなし～採血する前に～/安全な輸血を目指して/ドクター紹介
- 6 お知らせ
 - 弥富市小学生向け防災キャンプにDMAT派遣
 - 令和6年度災害訓練を実施しました
 - PHSのスマホ化を実施しました
 - 介護の日イベント「笑大学校」を開催しました
 - イオン名古屋茶屋の映画館でCMを始めました
 - 令和7年診療日カレンダーについて
- 8 地域医療と健康生活を守るためのシンポジウム
海南健康大学のご案内/職員募集のお知らせ



ホームページはこちら



新年のご挨拶

病院長 奥村明彦

あけましておめでとうございます。

昨年中は当院に対しまして多大な温かいご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。新しい年を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震、8月8日には日向灘地震と、2回にわたって大きな地震が発生しました。日向灘地震の直後には、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発令され、いよいよ南海トラフ地震が発生するかと緊張が走りました。

地震以外にも、激しい暑さが11月まで続き、ゲリラ雷雨といわれる集中豪雨が多発して、土砂災害が各地で発生するなど、大きな自然災害が多数発生した一年となりました。地球温暖化の影響ともいわれていますが、「過去にない〇〇」が非常に多かったように思います。災害への備えをしっかりと行いつつ、大きな自然災害が発生しないことを祈るばかりです。

また、日本とアメリカの両国で首相、大統領が交代するなど、政治をめぐる世界情勢にも大きな変化がありました。ウクライナや中東での戦争のゆくえや、私たちの生活に直結する経済情勢にも、何か大きな変化が起こる予感がしています。

医療の分野においても、医師の働き方改革が始まり、2025年に向けて進めてきた医療体制の整備が区切りを迎え、2040年に向けた新たな体制の整備が本格的に始まりました。このような様々な変化を目の当たりにして、時代が新たな局面に突入したことを感じざるを得ません。

迎えた2025年には、医療情勢は一層厳しくなることが予想されますが、この地域の医療を守っていくためには、地域の医療機関間の役割分担と連携がますます重要になると思われます。当院においても、多くの課題に取り組んでいかなければなりません。

当院では、満床状態などの事情により救急車を受け入れることができない“不応需”の件数を減らすために、“くんだり搬送”というシステムを始めています。三次救急を中心に、地域住民の方々を受け入れられるよう、引き続き努力してまいります。

最後になりましたが、すべての皆さまにとりまして、本年がすばらしい年となりますよう祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。本年も引き続きご支援、ご鞭撻を賜れば幸いに存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ありがとう 通所リハ「きらら」



平成10年に通所リハビリテーション「きらら」を開所して以来、長きにわたり、皆さまからのご協力とご支援を賜り、現在まで運営を続けてまいりました。しかし、地域の通所リハビリテーションが充実したこと、そして急性期医療を必要とする患者さんの増加に対応するため、令和7年3月を持って閉所する運びとなりました。

きららのスタッフは院内に異動し、急性期医療を必要とする患者さんのケアの充実に邁進してまいります。

地域の皆さまにおかれましては、閉所に伴い、ご迷惑をおかけすることを深くお詫び申し上げますとともに、長年にわたるご厚情に心から感謝申し上げます。

きららの歴史



平成10年
きらら 開所

当時は、リハビリ療法士が配置された通所リハビリテーションが地域になかったため、30名の定員で設置し、医療処置、リハビリを必要とする方を受け入れました。



平成12年
介護保険法施行

老人保健法のもとで医療保険証を使用していたのですが、介護保険証を使用する法律に移行しました。



平成16年
定員拡大

ご好評いただいたため定員を40名に拡大しました。

平成17年
きららの家 開所

定員を60名に拡大し、認知症患者さんに昔を思い出していただく回想法が発展した時期だったこともあり、当時では珍しい専門ユニットを定員20名で開所しました。

平成23年
きららの家 閉所

認知症患者さんを手厚く対応していただける事業所が地域に多数設置されたため、再度、リハビリと医療処置に重点を置きました。

平成24年 移転

病院南側に新築移転しました。

令和2年
コロナ期の運営

できる限り中止・短縮しない運営に努めました。

きらら開所当初から勤務しており、令和2年にきららに配属され、令和5年から所長を拝命しました。その歴史を振り返ると、一抹の寂しさとともに、皆さまへの深い感謝の気持ちが湧いています。

当院を退院された患者さんの自宅生活を支援する中で、院内では体験できない貴重な学びを得ることができました。

治療と並行して過ごす自宅生活を垣間見た私たちは、生活や人生に目を向けるスタッフとして、今後は急性期医療の充実に取り組んでまいります。

通所リハビリテーション事業所長 二井俊行



産婦人科のご紹介



産婦人科は、女性の健康を総合的に支える診療科です。思春期となると毎月のように子宮と卵巣は妊娠の準備をし、妊娠しなかった場合は月経が来ます。ホルモンの変化は体調不良をきたす原因となり、子宮と卵巣の病変が月経痛や月経量の増量を招くことがあります。妊娠はあとで触れるように大変な「事業」であり、逆に妊娠せずに月経の回数が増えることは、子宮内膜症の発症を増やすともいわれています。年齢を重ねることで悪性腫瘍も増えてきたり、女性ホルモンの減少に伴って更年期障害など様々な体調の不調が現れてきたりすることもあります。

お産はかなり安全なものとなってきていますが、場合によっては母体に危険が及ぶこともあり、急変時には麻酔科等の協力のもと、救命に全力を注ぎます。体外受精児が10人に1人となり、かつては妊娠をあきらめていた人々も拳児が望めるようになりました。その為高齢の方、合併症をお持ちの方の分娩が増えてきており、以前とは分娩のありようも変わってきています。産科診療として、他科との綿密な連携によりほとんどの合併症妊娠に対応できる態勢を整えており、前置胎盤、妊娠高血圧症候群や双胎など産科的ハイリスクの妊婦さんも幅広く受け入れております。帝切既往後の経膈分娩や低置胎盤などのハイリスクな経膈分娩も、希望があり適応が許せば試みています。分娩時に必要な際は、すみやかに小児科医師立ち会いのもと緊急帝王切開を行います。早産は、小児科との取り決めで27週以降の受け入れとなっています。

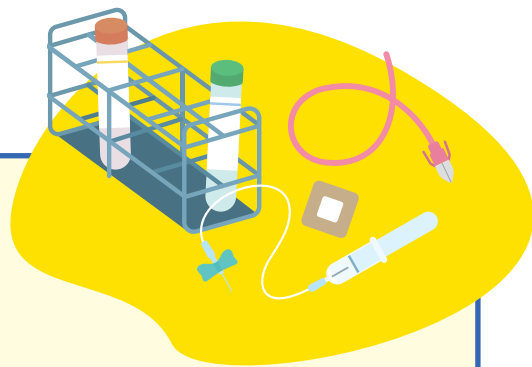
手術に関しては、多くの良性疾患は内視鏡手術

で行い、悪性腫瘍は開腹手術となります。しかし新しい抗がん剤が次々に開発されており、これまでと違い明らかに効果の高い薬剤も出てきており、投与の可否を決めるための追加検査を要し、副作用が多岐にわたるなど手間がかかりますが、最新の知見を常に取り入れ、手術だけでなく最適な治療を選択できるよう努めています。骨盤臓器脱に関してはロボット手術を始めており、再発しやすい従来の膣式手術はほとんど行われなくなっていますが、必要に応じて専門施設へご紹介となります。一般の婦人科診療は、患者さんの気持ちにより添い丁寧な診療を心がけております。なお、当院では生殖補助医療は行っておりません。

当院は地域周産期母子医療センターおよび地域がん診療連携拠点病院として、現在、指導医資格を持つ部長3名、専門医3名、専攻医3名の計9名により365日24時間対応できる体制で診療に当たっております。毎年新たな若い医師を迎え、活気があふれている海南病院産婦人科をよろしくお願ひします。



採血のおはなし ～採血する前に～



採血は、痛みもあり不安を感じる人が多いと思います。ここでは、少しでも不安を和らげるために採血前のポイントをおはなしします。

服装

服装は袖がきつくなならないものがおすすめです。また採血する部位は血管の弾力で穿刺部位を見きわめるため、肘に鞆などをかけないようにしましょう。厚着している場合は、採血の順番が近づいたら、上着を脱いで腕を出せる準備をお願いします。

食事

食事については、医師から特に指示がなければ、通常通り摂っていただいて問題ありません。気になる場合は診察時に医師に確認しましょう。

腕

採血する腕は、点滴など治療に使っている(使う予定)側・リンパ節を取り除いた側・過去に痛みがひどかった箇所を避けます。また同日の検査内容で制約される場合もあります。それ以外は、基本的にどちらでも可能ですが、血管の出やすさで選びます。また、血管が分かりづらい方は、カイロなどで温めておくと効果的です。ただし、低温火傷には注意しましょう。

★来院時間のお願い★

●診察の1時間前に来院していただくようご協力をお願いします。診察の1時間以上前に来院される方が多いと全体的に待ち時間が長くなり、予約患者さんにも影響が出ます。当日診察がない場合は朝を避けて来院することをおすすめします。

★車いす利用者さんへのお願い★

●採血ブースには、車いす対応の場所が3か所ありますが専用ではないため、タイミングにより順番が前後することがあります。慌てて車いすから立ち上がりせず、そのままお待ちください。

～採血室での疑問などは、採血スタッフまでお申し出ください～



安全な輸血を目指して

輸血とは、血液成分を上手く作れない病気や、手術などにより血液成分が不足した場合に、必要な成分を補充する大切な治療です。

輸血製剤には、貧血時に使用する赤血球製剤、血が止まるのを助ける新鮮凍結血漿製剤、出血を防ぐ血小板製剤などがあり、それぞれ適切な条件で使用する必要です。

そのため、医師・看護師・臨床検査技師などの医療従事者が連携して、安全な輸血を行うために日々活動しています。

今回、当院は日々の活動を評価するため、輸血機能評価認定制度(I&A)の受審をいたしました。外部機関評価を用い、今後も地域医療の中心的役割を担う病院としてより安全安心な輸血を行ってまいります。



ドクター紹介

Introduction of
new doctors



心臓血管外科

寺本 慎男

1月採用

- 前歴
小牧市民病院
- 趣味
音楽鑑賞など
- 抱負
循環器内科・救急・集中治療医とともに周辺地域を中心とした心臓血管疾患の治療に注力してまいります。



お知らせ

弥富市小学生向け防災キャンプにDMAT派遣

11月28日(木)、TKEスポーツセンターにて行われた弥富市の4小学校(大藤・栄南・十四山東部・十四山西部)合同防災キャンプにDMATを派遣しました。弥富市では、さまざまな体験活動を通じて防災について学び防災意識を高めるために、6年生を対象に防災キャンプを実施しています。当院からは、「命を守る仕事」としてDMATの能登半島地震における実際の活動の様子を紹介しました。また、DMAT車両の見学・試乗や実際の装備を手にとって体験するなど、災害医療について知ってもらう貴重な機会となりました。今後も、このような活動を通じ、地域の皆さまと「災害」について考えていきたいと思えます。



令和6年度災害訓練を実施しました

11月16日(土)、南海トラフ地震を想定した院内災害訓練を実施しました。災害対策本部の設置やEMIS(広域災害救急医療情報システム)を用いて被災状況を院外へ発信する訓練などを行い、非常時にも冷静に対応できるよう、参加した職員は手順を一つ一つ確認しました。昨年は、8月8日(木)に南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表され、戸惑った人も多かったのではないのでしょうか。当院では、こうした訓練を定期的に行い、不測の事態に対応できるよう努めてまいります。



PHSのスマホ化を実施しました

このたび、院内での連絡機器として使用しているPHSのスマホ化を実施しました。

従来のPHSは、基本的に電話で連絡を行うことしかできませんでしたが、スマホ化により、電話機能だけでなく様々なアプリケーションを利用できるようになりました。

ビジネスチャットツールとして「LINE WORKS」アプリ、診療に役立つツールとして薬剤情報検索・医療ガイドライン参照アプリ、海外の方にもスムーズに対応できるツールとして翻訳アプリ等の導入も行っています。

今後もスマホの高い拡張性を活かし、様々な場面で活用の幅を広げていきたいと考えています。

※PHS(personal handy-phone system): 移動型無線通信機器(病院内の内線電話として使用)
LINE WORKS: 企業向けのクラウド型ビジネスチャットツール

介護の日イベント 「笑大学校」も開催いたしました

11月10日、海南病院は介護の日イベントとして「笑う介護に福来たる！笑大学校」を開催しました。昨年度まではコロナ禍のためパネル展示とYouTube配信でしたが、5年ぶりに対面イベントを実施しました。たすけっと劇団による公演では、介護にまつわる寸劇の後にもみじおばあちゃんと120名を超える来場者のみなさんが一緒になってサンバを踊り、会場は一体感に包まれました。地域包括支援センターからは「介護施設の特徴と選び方」というテーマで講演を行いました。



イオン名古屋茶屋の映画館でCMを始めました

11月8日より「イオンシネマ 名古屋茶屋」の全スクリーンで、上映前に海南病院のCMが流れています。

5月の下旬まで放映予定ですので、機会がございましたら是非ご覧ください。



令和7年 診療日カレンダーについて

令和7年診療日カレンダーはホームページに掲載しております。
右記のQRコードよりご覧ください。

URL:<https://kainan.jaaikosei.or.jp/docs/R7.pdf>



第17回

地域医療と
健康生活を
守るためのシンポジウム

日時 令和7年1月26日(日)午後1時30分～3時30分

場所 津島市文化会館 小ホール

講演 地域医療を守るために ～能登半島地震から学ぶ～

講師 社会医療法人財団 董仙会 理事長 神野 正博 氏

内容 石川県七尾市にある社会医療法人財団董仙会は「いつでも、誰でも、たやすく、安心して、診療を受けられる病院にする。」を理念に掲げ、従来から災害対策に取り組んでいます。令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では大きな被害が出ましたが、「能登の医療を止めない!」という思いで行った活動についてお話しをさせていただきます。(参加費無料、申込み不要)

問合せ 事務管理室

『海南健康大学』のご案内

海南健康大学はどなたでも自由に受講できます。
参加費無料・予約不要ですので、お気軽にご参加ください。

開講予定 場所:教育研修棟3階 講堂1 2024-2025年度

テーマ:「けが・傷」の処置の仕方

日時:令和7年2月19日(水) 14:00～15:00

講師:形成外科代表部長 安村 恒央

**テーマ:「もしもし、救急車お願いします」
でもちょっと待った!本当にその救急車必要ですか?**

日時:令和7年4月16日(水) 14:00～15:00

講師:病院長 奥村 明彦

※3月は休講です。

▶ 職員募集のお知らせ

- 看護師 ● 助産師 ● 看護補助
- ヘルパー(パート)
- ケアマネジャー(パート)
- 事務員(準職員)
- 歯科衛生士(パート)



詳細は当院ホームページ
をご覧ください。
不明な点は、総務課まで
お気軽にお問い合わせく
ださい。



看護部申込
QRコードはこちら



看護部以外申込
QRコードはこちら

愛知県より紹介受診重点医療機関に指定されています

紹介受診重点医療機関は、かかりつけ医からの紹介状を持って受診いただくことに重点をおいているため、初診の方には紹介状の持参をお願いいたします。最新の外来担当医表は右記QRコードよりご覧ください。



▲外来担当医表

理 念

私たちは医の倫理をしっかりと見据え、質の高い、安全で安心な医療提供をとおして、地域を守り、地域から信頼される病院を築きます